

広報紙・リーフレット等による周知・啓発
～取組み状況～



広報紙(えぼ丸通信)
リーフレットの
位置づけ

地域包括ケア推進事業

地域包括ケア推進委員会

小児等在宅医療
推進事業

仕組み
づくり

小児等在宅
医療推進
連絡会

在宅医療介護連携
推進事業

医療介護連携推進部会

住民への周知

仕組みづくり

関係者人材育成

広報紙等(えぼ丸通信)

リーフレット

依頼講座

住民向け研修会

在宅ケア相談窓口

ワーキング
グループ

医療介護連携システム
検討グループ

在宅ケア相談窓口
検討グループ

病院間情報
交換会
運営委
員会

同行訪問研修

地域リー
ダー会議
多職種連携
研修会



えぼ丸通信



在宅ケア相談窓口・在宅医療介護連携推進事業の取組について、住民や医療・介護の関係者に情報発信するため、「えぼし麻呂」と「げんき丸」の名前を掛け合わせて「えぼ丸通信」として発行している。

事業名	H30年 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	H31年 1月	2月	3月
えぼ丸通信発行	◎			◎			◎			◎		

えぼ丸通信NO.4～NO.6発行

平成30年8月発行

えぼ丸通信 No.4



えぼし麻呂

- 1P 第15回多職種連携研究会報告
- 2・3P 地域医療連携 専門職紹介
住民向け講演会予定
相談実績と訪問実績
- 4P 多職種連携研究会

発行元：茅ヶ崎市保健所
地域保健課在宅ケア相談窓口
〒253-8660
茅ヶ崎市茅ヶ崎一丁目8-7
TEL.0467-38-3319

第15回 多職種連携研究会

茅ヶ崎市と寒川町は、平成26年度より在宅医療や介護の連携を進めていきま

平成30年8月発行



えぼし麻呂



えぼ丸通信 No.5

- 1P 在宅医療と介護の連携推進事業
- 2・3P 専門職紹介 在宅医師
相談実績
- 4P 住民向け講演会お知らせ
多職種連携研究会

発行元：茅ヶ崎市
地域保健課在宅
〒253-8660
茅ヶ崎市茅
TEL.0467-

平成30年度 在宅医療

茅ヶ崎市と寒川町では、今年も専門職の皆さんの力を結集し、在宅における医療や介護の連携をより発展させるための事業を進めていきま



在宅ケア相談窓口広報紙

平成30年9月発行



えぼし麻呂



えぼ丸通信 No.6



げんき丸

- 1P 病院とケアマネジャー連携研究会
- 2・3P 専門職紹介 歯科医師
相談実績
- 4P 住民向け講演会
多職種連携研究会

発行元：茅ヶ崎市保健所
地域保健課在宅ケア相談窓口
〒253-8660
茅ヶ崎市茅ヶ崎一丁目8-7
TEL.0467-38-3319 (直通)



病院とケアマネジャーとの連携検討会開催

平成30年9月14日に、茅ヶ崎市・寒川町で開院している9病院と、介護保険を利用する方の相談役となるケアマネジャーとが集まり、それぞれの立場で病院と在宅医療との連携について話し合いを行いました。

現在、地域ごとに構築を進めています。介護保険との連携をいかにスムーズに行うかという点が重要課題となり、病院と在宅医療との連携に関する問題点を話し合いました。今後の連携を進めていきます。

での迅速な対応が求められており、日頃の連携に関する問題点を話し合いました。今後の連携を進めていきます。高い項目について話し合いました。今後は、ここで話し合った内容を元に、関係者間連携のために具体的なルール作りを行ってまいります。

病院と在宅医療との連携がスムーズに進むことは、住民の方にとっても"安心して住み慣れた地域に住み続ける"ことに繋がると考えています。これからは、この会を通して関係者間で意見を出し合い、より連携を深化させていくことを目指してまいります。

*1：一環別省「地域包括ケアシステム」より抜粋—
"可能な限り住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを、人生の最期まで続けることができるよう、地域の包括的な支援・サービス提供体制を構築する"



えぼ丸通信NO.4

平成 30 年 5 月発行

地域医療介護 専門職紹介 第一弾 薬剤師



かかりつけ薬局を お持ちですか？



地域医療・介護に関わるさまざまな仕事の紹介、第1弾は薬剤師！！

薬剤師は様々な所で働いていますが、今回は、皆さんの身近な所、町の薬局で、どんなことをしているかをご紹介します。

ご存知のように薬局では、市販の薬を販売し、皆さまの健康に役立つよう、相談を受けています。そして、処方箋に基づいて調剤し、説明して薬をお渡ししています。この時、状態を的確にお話していただくと、症状に合った説明をすることができます。

ところで、身体が動かなかったりして受診できない方に、医師が往診する仕組みがありますが、薬局から薬剤師がご自宅まで薬を持って行き、よく説明する、という仕組みもあることをご存知でしょうか？料金は少しかかります。

薬剤師は、必要な方に、ご自宅まで薬をお持ちして、飲み方や注意を説明することもしているのです。薬剤師が家まで行く必要があると医師が判断すると、医師は薬局に、お宅を訪問するよう依頼します。薬剤師は、処方箋を見て調剤し、調剤した薬をご自宅まで持って行き、よく説明します。

飲み残している薬もできるだけ整理して、飲み間違いを防ぎます。必要があれば、ご家族や、医師や看護師、ケアマネジャー、ヘルパーなどと相談しながら、飲みやすくする工夫もします。このように、薬剤師はチーム医療の一翼を担い、他の職種の方と連絡を取り合いながら患者さんのために働いています。

でも、この訪問をしていない薬局もあるのでご注意ください。茅ヶ崎寒川薬剤師会のホームページの中に、訪問をしている薬局のリスト（在宅薬局リスト）があるので参考にしてください。保健所の相談窓口や薬剤師会事務局に相談して下さっても結構です。あなたのかかりつけ薬局の待合室に、「訪問します」とか「在宅で」と書いてあれば、そこは訪問してくれる薬局です！



薬剤師
森川厚子氏



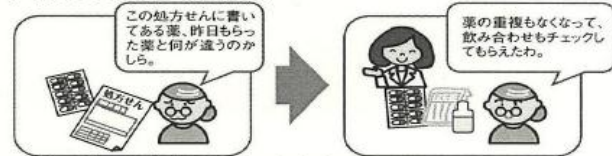
平成 30 年 5 月発行

薬が多くて分からなくなる、という患者さんには、1回分ごとに薬を一袋にまとめることもできます。錠剤がのめない方には錠剤を粉砕したり、粉薬に変更したりという工夫も提案できます。また、飲み合わせをチェックしたり、副作用を記録したりしています。在宅訪問の場合だけでなく、薬局の中でも同じように工夫していますので、ご相談ください。

薬剤師は、「薬」の専門家です。医療用の薬から一般に売られている薬まで、すべての薬を扱い、皆さまからの相談にのることができます。皆さんの身近な所では、学校薬剤師として公衆衛生にも携わっています。健康や薬について困った時には、皆さんの身近にいる薬剤師に気軽に相談してみてください。きっと道が開けることでしょう。

筆者：茅ヶ崎寒川薬剤師会 副会長 森川厚子氏

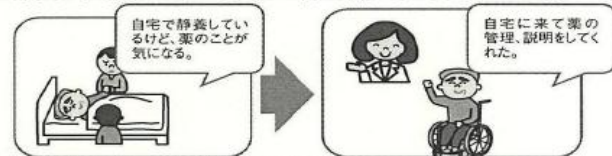
○同じような薬が重複していないか、飲み合わせの悪い薬が出されていないかをチェックしてもらうことができます。



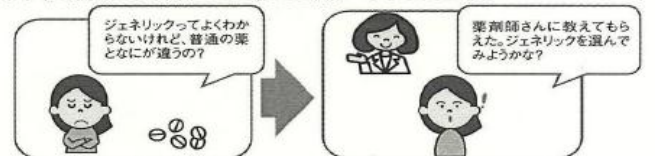
○飲み忘れや飲み残しを防ぐことができます。



○在宅での療養が必要になっても、薬の管理、説明を受けられます。



○ジェネリック医薬品について説明してもらえて、ジェネリック医薬品を選択するか希望してもらえます。



えぼ丸通信NO.5

平成30年8月発行

地域医療介護専門職紹介 第二弾 在宅医師

医師の在宅での役割は、いろいろありますが、かかりつけの患者さんが通院できなくなった場合に自宅にうかがって診療をし、本人、家族、連携スタッフに安心感を与えることです。

その前段階でかかりつけ医は、自分の専門領域外でもできるだけ対応し、どうしても対応できなければ信頼できる他の医療機関にタイミング良く紹介します。医師は自分の患者さんを紹介したら「終り」ではなく、最後までフォローすることです。つまり、入院したのか、回復したのか、具合はどうか、どんな検査をしたのか、その結果などについて一緒に心配し関心を持つことです。よりそうことで患者さんに安心感が生まれます。患者さんと医師との信頼関係がなければ、通院でも在宅でも上手くいきません。

この夏、思い出に残った在宅診療がありました。90歳を超える老男は、つい最近妻を亡くし、意気消沈気味で腰痛から歩行がうまくできなくなりました。老男は、昭和から芹沢で妻と農業を営み、一代で大きな農地を残しました。息子が後をついでからは、徐々に農作業もなくなりました。物忘れも多くなり、通院したくないと言いはじめ、薬を処方する事も難しくなりました。食欲も落ち気味でデイサービスにも行きたがらなくなったため、家族が心配し、冬から訪問診療をすることになりました。

診察室とは違い、こたつで老男はいきいきと芹沢での農業の歴史を語ってくれました。私が芹沢で子供のころに遊んだことを話すと、ホタルの話喜んでしてくれま



平成30年8月発行

した。1時間を過ぎると老男には、活気が出てきました。その後も芹沢の話をする度に目を輝かしていました。その後、訪問診療と同時期に訪問看護を開始し、清拭と点滴を行ってもらいましたが、下痢、腹痛が改善せず食欲はなかなか回復しませんでした。入院治療はしたくないとの意志が強く、自宅で静養を続けました。

初夏になり軒先の畑に大きなひまわりが咲いたことを伝えると、翌日老男は、自宅で息をひきとりました。日差しの強い、夏の芹沢が思い出となりました。

(*事例は家族に許可をいただいて掲載しています。ひまわりもご自宅に咲いていたものです。)



茅ヶ崎医師会 理事 大木教久

.....

えぼ丸通信NO.6

平成 30 年 11 月発行

地域医療介護専門職紹介 第3弾 歯科医師

在 宅の現場で歯科医師？と思われるかもしれませんが、診療室での治療はほぼ全て在宅でも提供できる世の中になっています。主に入れ歯の調整が多くなっていますが、最近は「口腔機能低下症」といういわゆる「オーラルフレイル」の状態で食事ができない方のリハビリテーションも行っています。対象は要介護状態の方になりますが、場合によっては訪問が難しい事もあります。

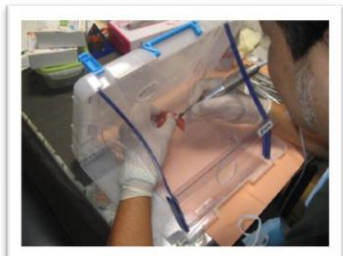


最 近遭遇したケースですが複雑でした。「入れ歯が合わなくなった」という要請があり訪問しました。その患者さんは退院後で、入院前には「入れ歯は使えていた」との事でした。自宅に戻ってから食べられなくなっており、入れ歯を入れると落ちてしまうという事でした。口は話す・食べる・息をする場所です。その機能を維持するためには口だけが関係しているのではなく全身が関係しているので「食事ができない」は、様々な方向からなぜ食べられないのかを考える必要があります。入れ歯だけ調整して解決する症例は少なく、全身的な複雑な要素が絡み合った症例を多く感じます。

ま た、話す事も筋肉を使います。全身は繋がっているので口だけの問題ではありません。そう考えると「入れ歯が合わない」は単に入れ歯の調整だけではなく全身のリハビリテーションが必要なケースもあります。咽（ムセ）る事も同様に考えられます。

食 べる行為はリズム運動で構成されています。その運動を構成するのは筋肉です。2週間運動しないと高齢者の場合は1/4の筋肉を失います。また、2週間の入院で7年分の筋肉が失われると言われていています。従って入院中にリハビリテーションをしないと歩けなくなりますし、歩かないと口も動きません。入院中から対策されていけば改善されるケースも多く感じます。

今 年で訪問診療を行って3年目ですが歯科だけではなくにも



平成 30 年 11 月発行

ならないと感じる事が多かったのは言うまでもありません。他の職種と連携して食べられる事を作り上げていく喜びを感じながら仕事できる事が今の満足感につながっているように思えます。現場では苦悩する事も多くありますが顔の見える関係により多職種で助け合って一人でも多くの方に食べられる事を提供していきたいです。



茅ヶ崎では茅ヶ崎歯科医師会が運営する在宅歯科医療地域連携室を開設しています。お困りの際は 0467-54-0993 までご連絡下さい。

茅ヶ崎歯科医師会 内間 恭洋



えぼ丸通信 配布実績

配布先

- ① 公的施設32か所
- ② 地域包括支援
センター12か所
- ③ 病院9か所
- ④ 民生委員全て
- ⑤ 社協・ボラセン
- ⑥ 適宜、各種会議
等で配布

配布数

NO. 4(5月発行)

NO. 5(8月発行)

NO. 6(11月発行)

計7500枚

在宅ケア相談窓口リーフレット 配布実績

配布先

- ① 依頼講座にて
参加者へ各1枚
- ② 住民向け講演会にて
参加者へ各1枚
- ③ 茅ヶ崎・寒川地区
在宅療養支援診療所
各10枚




配布数

1236枚

えぼ丸通信NO.1～NO.6発行

引き続き、配布・配架、寄稿の御協力宜しくお願い致します♪♪

平成 29年 12月発行




えぼし麻呂

- 1P 「えぼ丸通信」をお知らせ
- 2P 「在宅ケア相談窓口」
- 3P 「多職種研修会」
- 4P 「住民向け研修会」の開催

「えぼ丸通信」

この通信は、設立された「在宅茅ヶ崎市と寒川町連携推進事業」のこの窓口の開かれた地域で専ら医療介護の専門それぞれの立場で協力を進めていく。今年「在宅ケア」として相談員・立ち上げ、この事業を計画。この地に住む方々の力を合わせ、地域全体で協力を進めていく。

平成 29年 12月発行



えぼし麻呂


- 1P 依頼講座開催
- 2P 『地域包括ケアシステム』
- 3P 在宅医療介護連携推進事業 研究会・検討会
- 4P 多職種連携研修会 相談

在宅ケア相談窓口 依頼をいただきまし、連携を深め、会

民生委員児童委員 家庭等福祉的 大きな役割の一 在宅医療、介護 たびたびでした。 岸地区民児協では 医療介護の相談を 窓口が出来たと感 少子高齢化、核 要であり、地域包 、「在宅ケア相談窓 られます。これから また地域包括ケア を担う事を期待し

在宅ケア相談窓口広報紙

平成 30年 2月発行



えぼし麻呂

- 1P 病院間情報交換会開催
- 2・3P 超高齢社会とこれから 介護
- 4P 住民向け講演会報告 相談実績と依頼講座

茅ヶ崎市


平成29年12月22日集まりいただき、情報同士が顔が見える関係入院や外来受診時の又第一回目ということ各病院の現状やこれからいきたいことなどを話しました。

設置母体が様々な連携は、まずはそれぞれの理解することから始まる。その上で、各病院ながら患者さんのどうに对应していくのかを域の中で責任を持ちな事が重要です。

今後も、災害時の対応に対するベッド確保、介護の専門職との情報共有課題に対して検討を予定す。

在宅ケア相談窓口広報紙


平成 30年 5月発行



えぼし麻呂

- 1P 第15回多職種連携研修会
- 2・3P 地域医療介護 専門職紹介
- 4P 住民向け講演会予定 相談実績と依頼講座


茅ヶ崎市と寒川町は、平 地域で医療や介護を受け、通算で15回目（平成、「一地域の實力を知らう一院支援」【看取り】といったしていただき、それぞれの座長は、加納外科医院医療の現場で、看護師やケアら、茅ヶ崎寒川地区にお他職種からの人望も厚い医充実した時間を過ごすこと



加納外科医院院長 加納正道氏

在宅ケア相談窓口広報紙

平成 30年 8月発行




えぼし麻呂

- 1P 在宅医療と介護の連携
- 2・3P 専門職紹介 在宅医療 相談実績
- 4P 住民向け講演会お知らせ 多職種連携研修会


平成 30年

茅ヶ崎市と寒川町では、今年も専門職の皆さんの力を結集し、在宅における医療や介護の連携をより発展させるための事業を進めていきま心として、その下に行います。その第当日は、がん患者と他の職種との連携われ、それを元に、す。活動の内容につ




在宅ケア相談窓口広報紙

平成 30年 11月発行



えぼし麻呂


えぼ丸通信 No.6



げんき丸

- 1P 病院とケアマネジャー連携検討会
- 2・3P 専門職紹介 歯科医師 相談実績
- 4P 住民向け講演会 多職種連携研修会

発行元：茅ヶ崎市保健所
地域保健課在宅ケア相談窓口
〒253-8660
茅ヶ崎市茅ヶ崎一丁目8-7
TEL.0467-38-3319（直通）




茅ヶ崎市・寒川町
病院とケアマネジャーとの連携検討会開催

平成30年9月14日に、茅ヶ崎市・寒川町で開院している9病院と、介護保険を利用する方の相談役となるケアマネジャーとが集まり、それぞれの立場で病院と在宅医療の連携について話し合いを行いました。

現在、地域ごとに構築を進めている「地域包括ケアシステム」(*1)を推進するために、病院と在宅医療との連携をいかにスムーズに行うかということが重要な課題となっています。介護保険の申請時に必要な主治医の意見書や、入退院時の情報提供など関係者間での迅速な対応が求められており、日頃の連携に関する問題点を出し合いながら優先度の高い項目について話し合いました。今後は、ここで話し合った内容を元に、関係者間での連携のために具体的なルール作りを行っていきます。

病院と在宅医療との連携がスムーズに進むことは、住民の方にとっても「安心して住み慣れた地域に住み続ける」ことに繋がると考えています。これからも、この会を通して関係者間で意見を出し合い、より連携を深化させていくことを目指していきます。

*1：一厚労省「地域包括ケアシステム」より抜粋—
「可能な限り住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを、人生の最期まで続けることができるよう、地域の包括的な支援・サービス提供体制を構築する」



在宅ケア相談窓口広報紙